

## 平成 23 年度保物セミナープログラム

開催日：平成 24 年 1 月 23 日（月）

時 間：9 時 20 分～17 時 30 分

会 場：大阪科学技術センター大ホール

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1 丁目 8 番 4 号

Tel. 06-6443-5320 Fax. 06-6443-5319

### 開会のあいさつ

(9 時 20 分～9 時 30 分)

平成 23 年度保物セミナー実行委員会委員長 辻本 忠

### 保健物理学会企画行事

#### テーマ 1：福島第 1 原子力発電所事故の対応

(9 時 30 分～11 時 30 分)

挨 拶：日本原子力研究開発機構 百瀬琢磨

座 長：名古屋大学教授 山澤弘実

演題 1：セシウム汚染被服及び土壌の除染効果と限界

名古屋大学名誉教授 西澤邦秀

演題 2：福島原子力災害による内部被ばく予測と今後の対策

熊本大学教授 伊藤茂樹

演題 3：日本保健物理学会の対応（課題と論点の整理）

電力中央研究所 服部隆利

演題 4：総合討論

### 特別講演

(12 時 30 分～13 時 20 分)

演 題：福島原発事故による放射線防護のサイエンスとバリュー

座 長：京都大学名誉教授 斉藤真弘

演 者：京都大学名誉教授 丹羽太貫

## テーマ2：冷静に考える福島第1原子力発電所事故

(13時30分～15時20分)

座長：神戸大学教授 小田啓二

演題1：放射線量等分布マップ作成の経緯と現状

東北大学名誉教授 中村尚司

演題2：計算シミュレーションによる環境放出と

拡散プロセスの再構築

日本原子力開発機構 茅野政道

演題3：被ばくの現状と健康影響について

放射線医学総合研究所 酒井一夫

演題4：除染に向けての企業や団体の取組み

京都大学原子炉実験所 藤川陽子

演題5：総合討論

## 大阪科学技術センター企画行事

### テーマ3：「安全・安心」を巡る諸問題

～目に見えないリスクをどう伝えるか～

(15時30分～17時20分)

挨拶：大阪大学名誉教授 山本幸佳

座長：京都大学特定教授 宮越順二

演題1：原子力発電所や放射線・電磁界 に対する一般市民のリスク認知

大阪学院大学准教授 田中豊

演題2：低線量の被ばくの影響をどう伝えるか

京都医療科学大学教授 大野和子

演題3：リスクコミュニケーションの担い手としての第三者機関

京都大学名誉教授 木下富雄

演題4：総合討論

## 閉会のあいさつ

(17時25分～17時30分)

平成23年度保物セミナー実行委員会副委員長 山本幸佳